



棚田北の駐車場から北東へ北の入林道を入り、大日影ボルダー、滝の入ボルダーの入り口の小沢を過ぎて少し行った所に小さな水道施設がある。その反対側が九巒乗越入り口となっている。ボルダーは入り口から見えるのですぐ分かるが、車は30~40mほど先に駐車スペースがある。

岩質は安山岩で硬くしっかりしているが、背の低いボルダーで、見つけた当時は上に泥と苔が多量に乗っており、上は大きなスラブで、全くボルダリングの対象には見えなかった。しかし、泥を落として掃除をしてトライしてみると、適度に悪いホールドがあり、SDトライならば十分楽しめる課題が幾つか出来上がった。

《課題紹介》

●九巒ボルダー

トポ左:北面 トポ中央:西面 トポ右:南西面

北面は、特に難しい課題はないが赤ラインは体の振りがり楽しめる。

西面は概して難しい(私にとっては)。ホールドが悪く、下がハンクしているので、スラブへの立ちこみがきつい。オレンジライン(課題名:モメンタム)はリップより下のホールドからスタートするが、左抜けの方が難しい。

南西面の赤ライン(課題名:やまなみ)は左右、直上と3本に分かれるが、右ラインが一番難しく、最初は課題になるとは思わなかったがトライしたらなかなか面白かった。黄色と緑ラインはノーハンド。

